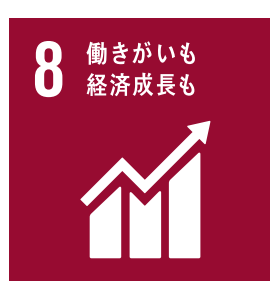


マーケティングサポート研究所



所長 佐藤 飛鳥 (ライフデザイン学部 経営デザイン学科 教授)

地域中小事業者において、良質な地元素材、地元産品などを販売しているが、売上が芳しくないことが多い。その原因として、マーケティング担当者の不在、アピール不足、ニーズオリエンテッドな新商品開発がなされていないことが挙げられ、その点を補うためにマーケティング理論の概説を行い、プロセスを理解していただくとともに、学生の実践の場としてアイデアを出すことにより、地域の方・学生双方にそれぞれの姿を見せ、交流し、協働して地域を活性化し、持続可能な経済成長に繋げることが目的である。

研究キーワード

- マーケティング ●商品開発 ●販路開拓 ●学生参加 ●地域産業振興
- 産官学連携 ●中小事業者 ●プロモーション ●アンケート ●SNS発信

研究内容

地域中小事業者を対象に、マーケティングの基礎理論の概説を行った上で、当該企業の素材や既存商品を元に学生がアンケートを実施したりアイデアを出しながら商品開発を行う。その過程や商品・サービスをSNSで発信してプロモーションを行うと同時に、プレスリリースを通したパブリシティ(無料のメディア露出)も積極的に行う。企業が「これまで売れてきた商品だから売れるはず」というプロダクトアウトの考えから脱却し、①消費者ニーズを理解し(マーケットリサーチ)、②ターゲットとUSP(ウリ)を明確にしてから(STP)、③商品改良・開発を行い、価格や販路を決め、プロモーションする(4P/プロダクトミックス)。コラボ終了後にも参加企業が若年層に受け入れられる商品づくりのマーケティングサイクルを自力で回していただけるようにサポートを行う。



学生参加による 地域中小事業者の 商品開発・販路開拓

